

平成 28 年度 第 3 回菊川市男女共同参画推進懇話会及びプラン策定委員会 報告書

年月日	平成 28 年 10 月 21 日 (金)	場 所	菊川市役所 2 階庁議室 19 : 00～21 : 00
検討事項	(1) 第 3 次菊川市男女共同参画プランの策定について		
<p>(1) 第 3 次菊川市男女共同参画プランの策定について</p> <p>① 第 3 次菊川市男女共同参画プランの素案について</p> <p>② 男性の働き方改革や心身の健康維持に関する支援 防災分野における男女共同参画 について</p> <p>③ 基本理念について、案①～③の中から決定する</p> <p>【事務局】①第 3 次菊川市男女共同参画プランの素案について 10 月 14 日配布時からの修正点について説明</p> <p>●委員の皆さんより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問良いか？以前いただいた資料の中に ID99 の女性消防団員の入団促進の担当が危機管理課ではなく、消防本部のため削除となっているが、今回載っているのが良かった。 →事務局の判断でいくと、病院や消防本部は別の事業所という事でそれぞれ取り組みをしている中でやっているという事なので、こちらの一般行政の方のプランには掲載しないが、向こうの中で取り組んでいただくという形で考えている。何故かと言うと今までは危機管理という事で、一般行政が消防を紹介していたという意識の中で行っていた。しかし今、消防本部という別の組織で事業所としても別のところで一新する中でやっているものを入れてしまうと、病院とか全ての行政機関載せなきゃいけない。行政の縦割りと言ってしまえばそれまでだが、区分の中で今回菊川市のプランの中からは項目としては外させていただく形になるということ。最後の方で事務局から申し上げようと思っていた次第である。 ・後でいいか？これは気になっていた。国の方はちゃんと載っている。参考指標に第 11 分野として男女共同参画の視点に立った防災分野復古ということで。女性消防吏員のいない消防本部の数とか女性消防団員のいない消防団の数とか。そういう指標を国は、きちっと立ててやっている。 ・それはまた後でという事でよろしいか。他に何かあるか？全体をじっくり読んでいくと、菊川市の行政の全てにおいて男女共同参画の視点に立ってやって頂きたいという強い意志を感じながら、私たちは凄くことをやっていると思う。もしかしたら市議員なんかよりも凄く事をやっているんじゃないかと思ってしまう。もしないようなら次に進むがよろしいか？ ・この間頂いた資料の中で今回も 18 ページだが、ID45 の女性のキャリア形成という言葉が凄く気になっていて、今回 3 ページの所にキャリアとして働きたいと思う人というような文言が入っている。私なりにキャリアという言葉調べたら、生涯として職歴を持つことと注釈があった。積み重ねた実地の経験とか、素敵だなと思ったのが自分自身の生き方を磨いていくという意味もあるよという。キャリアの使い方が、ここを読むと絶対誰もが職歴を持たなきゃいけないように感じてしまった。 ・最初どう書いていたかわかるか？外に出て働く、全部の女性の願いとしてトップに掲げられている。何で意味を調べたか？ ・ID45 の最初に気になったのが、就職の為の学習機会の充実ということでネットで調べたがアレと思って。女性が絶対キャリアを持たなければいけないのかと思って。 			

- ・アドバイザー：基本的には広辞苑で市民が生涯の職業を持つ、要するにフルで働くという意味。別の言い方をすると国では一級職を持った国家公務員もあるけど。まずはずっと働き続けるという意味があるので、後の方がそればかりではないはず。お家にいる人とかずっと並んでいるから、トップとしてずっと働き続けたいという人もいるけど外に出てっていうのはどうかなという事で考えた。あとこのごろキャリア教育って凄く言う。
- ・学校でも凄く言う、文科省の。
- ・一般向けの言葉になっているかなという事で。外に出てっていうものの凄い語弊があるかなと思って。
- ・アドバイザー：最初、仕事を持つ女性っていうのがすごく多かったが、読み聞かせに対するキャリアアップを狙った学習をしましょうというように、生涯学習を通してというのでキャリアアップという言葉を使う。ここのキャリアは就職のためのキャリアアップということで使われていると思うから、このキャリアは仕事としての意味です。
- ・アドバイザー：仕事ばかりではない。広辞苑の意味が生涯を通して専門的な力を持つというのも全て入る。
- ・ここに職歴とあって限定されちゃったのかなって疑問に思った。
- ・アドバイザー：読んでみて、次をちゃんと並べて。煮詰めての女性の姿が描き切れなかったら、ここに持ってきたらいいと思うのだけれど。
→我々としてもこのキャリアという意味をどう表現するか悩むところで、変な違和感や誤解を招くっていうのも我々としても辛いところがある。なのでここに合った言葉を説明をどうするか、中でも吟味したいと思うし良い提案があったらご教授いただきたいと思う。
- ・アドバイザー：以前どなたかの御意見で、家で本当に子どもを見たいというのがそんなに悪いのかという質問が出て、全て生き方を自分で選んだものを肯定していくとここで並べて書いてあると思うが、まだ足りない部分があったら。
- ・それぞれの生き方を尊重して、誰かが被害者意識を持つという事がないようにと思うが。ちょっとそこも考えながら色んなことに繋がっていくと思うので、話し合っていくとして他にはどうか？では続いてプランの内容のうち、まだ未確定で本日協議する項目について説明をお願いする。

【事務局】②男性の働き方改革や心身の健康維持に関する支援

防災分野における男女共同参画 について

- ・13 ページ ID36、38 について、ID36 に統一したい
- ・24 ページ ID82 及び 36 ページ ID116、118 について、担当課から男女共同参画として取り組む事業としてそぐわないのではないかという意見が出ている。事務局としてはそのまま残すべきであるという考えである。
- ・28 ページ ID90 について、事業の所管が消防本部となるため削除をしたいと考えている。
- 委員の皆さんより
- ・確認だが消防団員について、危機管理課では担当してないという事か？
→はいそうです。
- ・入れても意味がないという事？
→消防本部に、別組織の中で動くという形になるという事なので。広く菊川市の中で入るのだが組織もトップも違うという事で、取り組みという形になる。
- ・はい、防災の関係はよろしいか？それでは皆さんからご意見をいただきたいと思う。事務局の考えについていかがか？

- ・アドバイザー：防災の場面で女性消防団員の話だが、どうなっているか？
→現在、女性は後方支援という事で予防・啓発を主な活動としていて、幼稚園や保育園に行って花火の教室やるとか啓発のパンフレット作ってそれに登場するとか、そういった部分の活動が主になっている。
- ・アドバイザー：それ以外にも啓発運動や予防が主になっている。
→そうですね、火事場に駆けつけてどうこうっていう部分には男性の各地区の消防団が出動して、各地区でやるという事になっているので。
- ・アドバイザー：スタートの頃から知っているが、最初は男性団員を入れるためのとか、それから一つのお祭りの時って使い方をしていて、とても危機感を覚えた。現実には防災の場面で女性の消防士さんがいるっていう事が非常に重要だということになれば、ここに本部は入らないけれど連携するなどの言葉を入れた方がいいかなと思う。女性消防団員さんを形だけに扱ってほしくない。出来あがった頃に沼津市で全国大会があったが、私パネラーやったもので飾りに使われては困るという事をそこで象徴した。衣装を年間4回変えるとか、そんな話しているわけである。それはおかしいんじゃないという想いをその時凄く思った。
- ・私はむしろ消防団が出てきた要因は復興と東日本大震災だと思う。国は庁がいろいろあるからここへ入りやすいとかあるのだろうが、火事というよりは地震防災の方で非常に大切になってくると思う。女性の働きが。その視点を抜いてはいけなないと、ID89に書いてある。きっと地震防災における女性のだと思う、地域のね。今加茂あたりは熱心にされているし、女性消防団もあるのかな。そこをしっかりと持っていた方がいいし、これから女性消防団員の地域での活躍が大事だと思う。地震防災、水害での救助の活躍昼間は特に女性の力が発揮されると思う。
- ・アドバイザー：震災など被災された場合は消防本部がやるから但し書きというか、そういう協定を結んだと言えば形が付く。募集もだが行政の手が出せない。そういう分野があるわけで、でもこちらの想いは伝えるというのが大事だと思う。
→消防本部の方と話をさせていただいて、女性消防団員について消防本部がどういう意見を持っているかというのも確認して、対応させていただく。
→市の防災本部の危機管理課と協力案が必ずあるので、IDとして単独にするかID89の中にそれを加えるかもしれないが、市そして危機管理防災意識の中で消防と組んで、その中で女性消防団を始めとする女性の力を発揮するとか充実していくという表現は加えさせていただく形にする。
- ・それではID90は消えるかもしれないが、この内容についてはID89・ID91に入ることですね。
→はいそうです。
- ・そうすれば、消防団や女性消防団の入団については危機管理課でやるべきだという意見がまた別口で出てくるかも。
→ちょっとそこは話をさせてください。
- ・男女共同参画の話も、教育委員会に行ったりあっちこっち行ったりしたことありましたもんね。では危機管理課ではなくなったという事で、事務局に一任してよろしいか？
- ・はい、良いです。

【事務局】③基本理念について、案①～③の中から決定していただく。

案①『女と男がお互いを認め合い、自分らしく暮らすことができるまち』を目指します。

案②『女と男がパートナーシップとしてお互いを認め合い、自分らしく暮らすことができるまちを』を目指します。

案③『女と男がお互いを認め合い、協働して、自分らしく暮らすことができるまち』を目指します。

●委員の皆さんより

- ・菊川市の総合計画が出ていると思うのだが協働は菊川市の基本理念と合っていて、いい言葉を見つけたと思う。男女参画も協働という文字として合わせてこっちの方が良いと思う。パートナーシップという用語が長いかなと。菊川市の総合計画も同じような「行政と住民が共に汗かくまち」なので、この言葉を入れた方が菊川らしいかなと思った。
- ・協働に一票という事でよろしいですか？
- ・今日これ頂いて、協働って良い言葉があったんだなと思って。やたらと横文字がいっぱいあると世代が上の人達も増えてきているので、それを見ただけで敬遠されるかと思うので私も協働が良いと思う。
前回の時にパートナーはなくても良いんじゃないかと思ったが、家で資料を読んでいて入っても良い言葉だなとやっぱり思って。協働という字を今初めて読んで、読んで字のごとく良い言葉だなと思った。こちらに意味もちゃんと載せていただいている、わかりやすく良い言葉だなと思った。
- ・アドバイザー：一言良いか？協働と男女共同参画なので意味が全く違う。
- ・共同参画の意味もこちらの協働もどういう意味なのかなとずっと思っていて。
- ・パートナーシップを持って協力して働くのが協働。この協働に意味がある、共に汗かくまちに結びついて。
- ・私はもうパッと見て、対等という意識付けを絶対忘れてはいけないと思った。女と男だけでも、何故こう読むかという人が多いと思う。男女が共にという所で、女と男が共にでも良いと思っている。つまり漢字でも何にしても、そこからすでに男女対等じゃないような事になっている。そのくらいの次元で物事が進んできたわけだから。協働という漢字の中で対等という意味の言葉が入っているといいと思う。そこは抜かないで欲しい。働き方もそうじゃないか。働き方を変えようというのは良い事だが、せっかく男女共同参画ってやって来たのに男性の方に働き方まで女性が引っ張られていような。深夜労働まで入ってきている。女性が働くことを何の為に国が推奨しているのか、税金を払うために働かされているという風に、変な所に落とし所があったりする。政策は気を付けないといけないと思う。本当の意味を失わないようなプランにしないといけないと思う。
- ・前回の時パートナーという言葉が、会議に出ている立場でも色んな捉えられ方があるかなと思った。家で夫と娘に別々にパートナーという言葉の意味を聞いた。そしたら二人とも、やっぱり夫や妻という意味のパートナーと捉えた。その為広く市民に広げるためには、言葉って難しいなと思った。で、今日の会議でこの協働という言葉を見たときに、あ、スッキリしたと。説明もあるし、協働良いなと思った。
- ・3番で。みんなと一緒に良い。
- ・私も家庭でパートナーという言葉の意味を話し合っていて、やっぱり夫婦とかでも、今違う意味も広がってきているかなと。でもその違う意味が同性愛とかかなり、協働とかそういう意味には捉えられてないなと思う。協働の方が豊かに暮らせるという意味では、共にというのが強調されるので良いと思った。
- ・単純な考えだがこの共同とこの協働、我々は今まで話し合いをしているので違いが分かるのだが、これは必ず市民の方が見ますよね。共同と協働が、どう違うのかという単純な疑問を持たれる可能性もあると思う。私は1番のがシンプルで良いと思う。例えば政治の世界とか女性がいて、ちゃんと認めなきゃいけないというのもあると思うので。
- ・僕は市民協働センターでちょうどこの漢字が付くのですけれど、この字を初め見た時に一般の方と同

- じようにどんな意味なんだろうと思った。しかしそれがきっかけで、共同と協働の違いは何だろうと。思ってくれるといいなと思って、その思いも込めて3番が良いなと思った。
- ・私はパートナーを入れた方がいいと思う。何をしたいのかっていうので、対等であるという事を入れるという事でパートナーが良いと思う。今に焦点を当てるなら3番の協働が良いと思うが、この計画が実際実施されて5年後パートナーという言葉が受け入れられている社会の方が見たいと思う。
 - ・私は②と③と迷っているが、協働と共同がミスプリなんじゃない？と言われた時に説明できるチャンスかなと思った。今の菊川の段階とすると、夫と私の名前を同じ大きさの表札で出しているが、この表札はみっともないって言う人がいる。近所のおばさんに「あんたが威張っていることが分かっちゃうよ」と言われる。こういうレベルの菊川で考えると気付きから始まって、若い方が5年後を見たいと言ってきて嬉しいと思っている。
 - ・一つ、言葉の間違いというのは凄いい気になっていて、ここの注釈として「協働とは人と人が対等な関係にあり」とありますが、対等な関係という言葉は入っており、パートナーを入れたい訳は対等な関係というのを入りたいからですよ？だったらもう入っているから良いかなと思うが、協働という漢字がこんがらがるとかという心配はある。対等という言葉がいちばん大事かなと思う。
 - ・①は意思がない。だからやっぱりパートナーか協働は入りたい。パートナーとは社会的に「自立をしているお互い同じ目標を持っている、情報を共有している立場」という意味である。一般的にはパートナーシップと表現している為、わかりにくいと言っておられる方もいるが。パートナーシップを持ってとかになると違ってしまふ。そこはちょっと言葉を変えながらそこまでして入れるのか、平等はまさにパートナーシップを持って協力して働くという意味。一番大事なこと。これを意識することによって全体を覆うような意思なので、十分練った方がよい。事務局はどう思うか？
→パートナーという言葉が5年後受け入れられているかと。皆さんで御意見を出し合っていたらと思う。
 - ・基本理念は、今は実現できてなくてもいいか？それとも今動くために動きやすい言葉？今、目指すべき姿だから今日それが出来ていなくても良いという事？
 - ・気付きから実践している人から様々ですよ？世の中にはいろんな人がいる、高校生の会話を聞いていたら俺の女になれとか、そういうレベルの人もある。あるアンケートで高校生の一番なりたい職業が主婦と出た。それも事実だし、キャリア積んでバリバリ働きたいという人がいるのも事実。
 - ・よろしいか？後ろを見てもらうと施策とかいろいろ見ると、シップよりも協働にした方が文章が繋がるのかなと思った。さっき言った消防から介護から共に働く、動いて何かをするというのを強調するのであれば、ペアじゃなくてパートナーというとなんか2人って考えちゃうもので、全体を見るって考えるなら協働の方が合っているのかなと思う。
 - ・パートナーシップという考え方は二人という意味じゃないが、あまりにも2人っていうような訳され方をするので。
 - ・自分としてもそう思ってしまう、単純に見るとね。
 - ・どうしてもこれ一対一からイメージが、そこを越えられないというか。
 - ・そう思うと、協働にした方が色んなものに当てはめやすいのかなと。そうすると共同参画じゃないよという話になってくるんですかね？
 - ・そんなことはない。共同参画で使っている共同は、共同単独の言葉ではない。参画へかかる言葉なので、これは協働の比較にはならない。ただこの答えに慣れてない人はいるかもしれない。総合計画をもう一回言って欲しい。
 - ・はい、総合計画まちづくりっていうのは、住民として何が出来るかっていうのを考えるのが総合計画

- の中でも柱になっているもの。課の名前もそうだが、わりかしこの協働という言葉も使っているかなと思う。誤解もあるかもしれないが、いちばん誤解が少ない言葉かなと思う。
- ・まちづくりでも協働って結構使うのですね？協働の名のもとに。
 - ・僕は最初協働という言葉を知らなかったが、知っていくと男女とか関係なく自分が出来る事をするという意味であった。だから共働という言葉には最初から男女共同参画という言葉が組まれている。
 - ・単純多数決で行くと③の協働が多い。
 - ・皆さんの意見を聞いていて、嫌な思いは絶対しない。難しくもないし、パートナーというのも言葉としては良いが。
 - ・夫をパートナーと言い換えていた時期があったから余計しっくりこないのかもしれない。
 - ・パートナーは結婚していなくても使う。会社のパートナーとか。でもこういう会議をやっているとそういうものじゃなくて対等という意味が見えてくる。
 - ・②と③で決めていきたいというものはある。言っていることは同じ。協働を押している人は菊川の総合計画も考えて、パートナーというと夫婦を連想してしまうのではないかなと思う。②を選んだ方は、本来男女共同参画というところで大事なことなんじゃないかなと思う。
 - ・パートナーという言葉があるという事で、男女共同参画という言葉はあるけど同性愛者の方たちの生き方も注目されてきている。パートナーって言うとな対一というイメージも確かにある。
 - ・時間も大分押されてきて、事務局の方はどう思います？
→はい、自分の家庭の話だがお互い共働きで認め合うその先に行って協力し合わない、生活出来ない。子どもの勉強は見られる人がその都度見るような形で、家事も育児も男女関係なくやっていかないと回らない。なので、出来る人がやるという協働が良いと思う。
 - ・パートナーシップという言葉だが15・6年前に菊川に組合があって女性部の、今の菊川の現状よりもそこまで行ってない時に色んな地区の人とか出てきて現状を話し合ったときにね、ある人が「違うんだよね、パートナーシップなんだよね」と言っていた。その人はその段階でやっぱり自立していたしね。農業やっているお母さんだったんだけど、子育てやりながら農業をやっていた。私は役員で皆さん集まってという中で、こういうものを目指すといいなあって思った。でも現実には皆そのレベルまでいってなかった。パートナーシップって課題の所にもあるように、やがて目指すところにパートナーシップというのが、やっていく中で段々に広がっていくといいなっていう思いもある。
 - ・難しいですけど、男として平等という言葉がずっと入るようにしてあれば、注釈あるし良いと思う。気を付けなければいけないのは、共に働いているとか共にという言葉で一緒にやっているだけになっている事がある。そこには主従関係が出来ちゃっている。男性と女性で主従を作ってはいけないという事である。自治会だって女性の自治会長がいつ半分になるのかなと思う。しかしならないでしょ、対等意識がない。日本のトップも女性が主要なポストに就くようになった。でもアメリカやイギリスやドイツのイメージにはまだ追いつかない。染みついたらちやっているから男が先に行くっていうのが。若い人たちの感覚がどういう感覚でいるか。10年先はAIが発達して6割が仕事変わる訳なので。でも意識っていうのがなかなか変えられないですよ。女性も働きやすくなる。基本理念は目指す姿でもあると同時に、全ての施策が落ち込めるものだと思っている。だから全ての施策がここに戻ってくるという事。お互い認め合う意識作りも環境づくりもまちづくりも。その為協働で良いと思う。
 - ・どういう風に認め合うかがないと、意思がない。
 - ・私は今日、修学旅行の説明に行った。昨日まで嫁さんが行くって言っていたのが、急に仕事で行けなくなったので。そうしてパートナーシップを通り越すと、協働になるのである。その為パートナーの上の、大きく見ると協働の方が良いんじゃないかなと思う。嫁さんとどっちが行く行かないと話しても、

行ったから良かった。行ってみれば親がいなくて子どもだけの所もある、そうすると凄くかわいそう
だと思った。子どもは来てくれてありがとうと言ってくれるし。最終的には協働の方が良いのかなと
思う。

- ・協働でどうか？子育て中は無我夢中で協働じゃないと生活できないし、すべての施策が落とし込める。
パートナーシップにも男女共同にも繋げられるいう事で。
皆さんの同意を貰いました。それでは私たちの基本理念は、「女と男がお互いを認め合い、協働して、
自分らしく暮らすことができるまち」で決定する。

【事務局】その他について

●委員の皆さんより

- ・ID116～ID119 ちょっと高齢者の部分とか内容はいいと思う。ただ男女共同参画の視点に入るような文
言をなにか上手に付け加えた方がいいかなあと思う。入れることに反対している訳ではない。思い切
って男女共同参画の視点でとかで良いと思う。
- ・確かにこれをパッと見た人は何故、これを男女共同参画でやるのかなと思うかもしれない。配食サー
ビスもね、やっていたのですよね。
→そうです、担当課が。
- ・言葉を付け加えるのが難しい。
→行政の検討委員会の中でも、健康の部分で違和感を感じるという意見は出ました。検診の方も、男
女共同参画でどうなのという意見があったことは事実である。
- ・検診は女性の健康という意味で大切。
- ・その場合いかにも女性だけの仕事じゃなくて、男性も加わっていく必要あると思う。これから高齢化
社会になっていくので。給食サービスも現在も配っているでしょうけれども、やっぱり行政の死角と
いうか力があるかなと思う。
→そうですね。
- ・どっちか片方がやるという時代は去ったと思う。高齢者に対して男女共同参画というと違和感を持つ
人はいっぱいいると思う。だからこの分野を入れておく必要があると思う。男女共同参画の視点を持
って意識を持ってやるという事。言葉一つ持っても違うと思う。「お母さん介護大変ね」というのと
意識だけでも随分変わってくると思う。「お嫁さん大変ね」という言葉じゃなくてその言葉を変えて
いくっていう。介護課の人達にそれをちょっと意識してもらっただけでも違うと思う。気づきの部分に
戻ってしまいますが。かなり修正は加えてくれていますね。
→この部分はそのまま残すという方向で、もし男女の視点を入れるような良い文言があればちょっと
変えますけれども。
- ・どうしてもって言うならタイトルの所に男女共同参画の視点からと入れるとか。共に等ちょっと入れ
るだけで違ってくると思うのだけれど。
- ・皆で助け合って分かち合っていくものだよと。実際事業所やっている委員さんはどう思うか？
- ・これって高齢者配食サービスとか、わりと一人暮らしとか高齢者世帯であるとかご家族と一緒に暮ら
していない方対象の事業なので、多分長寿介護課さんから言うとご家族がないところで悩むと思う。
そこらへんがっていうのも分かるような気もするのですけれど、やっぱりなかなかこれに男女共同参
画という、入れるのが難しいと思うのですけれど。
- ・これって地域の人達にもあるよね。近所に一人住まいの人がいればというような視点も考えれば ID117
認知症のサポーターになってくる。でも最後の外国人への支援も。

- ・私もこの懇話会に出席させていただいて、初めの何にもわからなかった時に ID を見て行って、こういうのも男女共同参画なのかと驚いた事があって。確かにこれだけ見るとみんな平等に高齢者になっていくという事で、男女がってというのは難しいのかなと思う。さっき意見が出たように付け加えることで、男女共同参画という視点が入ればまたちょっと違うかなって。
- ・基本理念を読んでこれを枕詞に繋げるとすれば全て入ると思う。

(2) 講評(男女共同参画推進懇話会アドバイザー 林のぶ先生)

この前の会議でパートナーの意味について協議させていただいて、まさにその通りで大事な所なので協働という言葉を提案させていただいた。今日の皆さんに差し上げましたのは、まさに今時を表せている記事なので後でゆっくり読んでいただいて。結婚を子どもの時から学んでいって教育をしていかないと結婚というものから逃げていってしまうのではないかという事が書かれている。また裏を見ていただくと LGBT に対する配慮が各市町で行われるようになった。要するに男か女かの欄じゃなくて、その他という欄が書き込まれたという例が載っている。それからマリ・クレールという女性特有の雑誌の男性版が出来たという事ですが、静岡市のセノバに入ると駿府公園側の入り口の一番正面のお店。あそこが実は男女の区別なく要するに着られるというのが暗黙のうちにある。なのでショーウインドウのブレザーはどっちにも合いそうな物が飾ってある。そういう時代になったなという事をすごく思うのだが、そういう意味で見ていただくと良いと思う。

今日の10番の様々な困難を抱えるというのが一つだけ入っているが、昨日今日非常に大きな問題になったのが子どもの貧困。貧困と言うのは将来我が国を貧困化させる、貧困の連鎖という事になり実は子どもの貧困と言われる前に2000年の北京杯で女性の貧困の筆頭に挙がった。お母さんが一人で子どもが2人、17万円給料を貰っているのだが都会に行ったらとてもじゃないけど生活出来ない。その17万に届かない人が今凄く増えていて、もう塾には通えられないし学力の差がついてくるという。今日の静岡新聞には子どもを救うことを静岡では行うよと書かれている。だから一点これ何かを含むことを考えたらどうか。言葉は整理されていて計画らしくなっていると思う。金曜日に静岡の付属中学で社会科の授業ですでに子どもの貧困をやっている、子どもたちは非常に活発に話をしたという事である。なので時代を見ていくという事と、この理念を目指して念頭に置いてやって欲しい。もっと言いたい、時間も過ぎて子どもを置いてきている方もいるのでこの辺で。理念でこれだけ練っていただいたので、皆さん一人一人貴重な意見を言っていただいていると思う。庁内でどういう事業をつけていくかですが、かなり整備されているので期待できると思う。今まで大変だったと思うがご苦労様でした。